

## 会 議 事 録

1 会議名	平成 25 年度 第 1 回長岡市高齢者保健福祉推進会議
2 開催日時	平成 25 年 6 月 27 日（木曜日） 午後 2 時から午後 3 時 30 分頃まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟 4 階 大会議室
4 出席者名	<p>（委 員）本田委員長 長谷川剛副委員長  赤柴委員 磯部委員 今井いみ子委員  今井薫委員 加邊委員 柄澤委員  小林啓一委員 小林守委員 小山委員  佐合委員 関本委員 竹内委員  竹日委員 長谷川和明委員 藤巻委員  松田委員 米山委員</p> <p>（事務局）福祉保健部長  福祉総務課長ほか関係職員  介護保険課長ほか関係職員  長寿はつらつ課長ほか関係職員  健康課長ほか関係職員  長岡市社会福祉協議会事務局長</p>
5 欠席者名	鯉江委員、小坂委員、関委員
6 議題	<p>（ 1 ） 長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況  について</p> <p>（ 2 ） 長岡市高齢者等生活実態調査について</p> <p>（ 3 ） その他</p>
7 審議の内容	
発言者	議 事 内 容
福祉総務課課長補佐	<p>それでは、ただいまから平成 25 年度第 1 回長岡市高齢者保健福祉推進会議を開会します。</p> <p>本日、鯉江康正委員、小坂美枝子委員、関典世委員は、所用のため欠席でございます。</p>

	<p>また、赤柴豊英委員は、所用のため途中退席されることをあらかじめお伝え申し上げます。</p> <p>続きまして、委員の辞職に伴い、新たに2名の委員にご就任いただきましたので、お一人ずつご挨拶をお願いいたします。</p>
小林委員	(小林委員 自己紹介)
米山委員	(米山委員 自己紹介)
福祉総務課課長補佐	<p>ありがとうございました。</p> <p>また、部会につきましては、委員長の指名により、小林委員には、地域密着型サービス運営部会員を、米山委員には地域包括支援センター運営部会員をお引き受けいただきたいと思います。</p> <p>なお、米山委員におかれましては、部会長をお引き受けいただければと思います。よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、資料の確認をいたします。事前にお配りした資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 1 長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗状況報告書</li> <li>・資料 2 平成25年度長岡市高齢者等生活実態調査について</li> <li>・資料 3-1 から 3-3 長岡市高齢者等生活実態調査 調査票 (3種類)</li> <li>・資料 4 長岡市高齢者等生活実態調査 調査票 意見聴取結果</li> </ul> <p>また、本日配付資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員名簿</li> <li>・本日の配席図</li> <li>・依頼文 (長岡市高齢者保健福祉推進会議委員の選任について)</li> <li>・長岡市高齢者保健福祉推進会議設置要領</li> </ul> <p>以上でございます。不足等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>なお、ここで依頼文について、説明をいたします。</p> <p>市が設置している審議会等について全庁的な見直しを行った結果、長岡市高齢者保健福祉推進会議の位置づけが変更となりました。これに伴い、従来の設置根拠であった「長岡市高齢者保健福祉推進会議設置要綱」を廃止し、新たに本日配布した「長岡市高齢者保健福祉推進会議設置要領」を制定いたしました。</p>

<p>委員長</p>	<p>委員の選任方法につきましても、従来のような「委嘱」という手続きをとらないこととなりましたので、新しい要領に基づき、改めて依頼させていただくものです。</p> <p>それでは、本日の議題に入ります。ここからは、委員長の進行をお願いいたします。</p> <p>皆さん、ごめんください。本日は非常に暑くなってきましたが、皆様もいろいろな場面で大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>本日は、平成 24 年度から始まりました第 5 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況の確認。そしてもう一つは、第 6 期の計画を来年度に策定するわけですが、その 1 年前、つまり本年度に高齢者等生活実態調査を実施しようということですので、この 2 つを議題として進めてまいりたいと思います。</p> <p>皆様のご意見を聞きながら、3 時 30 分終了を目処に進めてまいりたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>議題に入る前に、会議の傍聴について確認したいと思います。この会議は公開でございます。本日傍聴希望者がいらっしゃいますが、委員の皆様、傍聴を許可してよろしいでしょうか。</p> <p>(一同、異議なし)</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、承認いただきましたので、傍聴を許可いたします。</p> <p>では、議題に入っていきます。よろしく申し上げます。それでは、「議題 1 . 長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況」について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>介護保険課長</p>	<p>介護保険課長でございます。よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、「資料 1 長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況報告書(実績見込)」をご覧ください。私のほうからは、1～4 ページまでご説明させていただきます。</p> <p>(資料 1 に沿って説明)</p>
<p>長寿はつらつ課長</p>	<p>長寿はつらつ課長でございます。よろしく申し上げます。私のほうからは 5～6 ページについてご説明させていただきます。</p> <p>(資料 1 に沿って説明)</p>

健康課長	<p>健康課長でございます。よろしくお願いいたします。私のほかからは8～11ページについてご説明申し上げます。</p> <p>(資料 1 に沿って説明)</p>
長寿はつらつ課長	<p>続きまして、13～21ページをご説明させていただきます。</p> <p>(資料 1 に沿って説明)</p>
福祉総務課長	<p>福祉総務課長でございます。私のほうからは、22～23ページについてご説明いたします。</p> <p>(資料 1 に沿って説明)</p>
介護保険課長	<p>続きまして、24～31ページをご説明させていただきます。</p> <p>(資料 1 に沿って説明)</p>
福祉総務課長	<p>続きまして、32～37ページをご説明させていただきます。</p> <p>(資料 1 に沿って説明)</p> <p>議題(1)についての説明は以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。高齢者等の概況から始まりまして、重点事項として、生きがいづくりと社会参加の促進、健康づくり、介護予防事業の推進、高齢者・介護者への支援、介護保険制度の推進と運営、地域で支え合う体制、そして環境整備と非常に幅が広い内容でしたけれども、平成24年度の実績が出ております。</p> <p>時間もありますので、委員の皆様から、この点はどうなのかというご質問や、日ごろ活動をされている中でのご意見等ございましたら、お話し願えればと思います。</p>
委員	<p>この中から見えることに対して、何点か意見を言わせていただきます。</p> <p>最初に14ページの地域包括支援センター機能の充実について、成年後見関係の相談が少ない気がします。介護保険法が平成12年に施行されましたが、あの法律自体は自立支援等、本人が主体だという本人保険の制度になっています。平成12年3月31日までは措置、いわゆる行政のほうからの処分、という言い方ですときついですが、そういう措置制度の中で動いていたところから、本人が決定す</p>

る本人のための保険として介護保険はスタートしています。

ところが、先般報道されましたように、65歳以上の認知症の人の数が462万人、それから予備軍が400万人となっているんですね。これを長岡市にあてはめると、なんと2万1,000くらいが認知症だということになるんです。認知症になっている人が自分で決めるというのは、なかなか難しいですから、成年後見など本人を重視するような決め方に変えていかないといけない。

良い悪いというわけではないのですが、ご家族の方がサービスを申請するということがほとんど主流だと思います。けれども、保険の精神は本人が決めることですので、本人志向というところをもっていくためにも、地域包括支援センターには成年後見に対する認識をもっと広げて行っていただきたいと思います。

それから、32ページの件です。複合型サービスが広がらない最大の理由は、小規模多機能型居宅介護に訪問看護ステーションを併設するという形になることです。そうすると看護師を最低2.5人以上、内付けとして配置しなければならないんですね。今の看護師不足の中では、2.5人ずつ事業所に看護師を配置することが非常に困難です。一方、定期巡回・随時対応型訪問介護看護は内付けだけでなく、訪問看護ステーションと連携するという外付けも認めているので、複合型サービスよりやりやすさがあります。ですから、小規模多機能型居宅介護についても、連携型で複合型サービスに移行できるようにと申請しております。その連携型が通れば、おそらく参入しやすくなると思っています。これが、この事業がなかなか進んでいないという報告の背景と、現在そのように動いているという情報提供です。

それから35ページですけれども、確か新潟県では長岡市が最初に低床バスを走らせて、現在新潟市でも走っていると思います。低床バスというのは、乗りやすさ、降りやすさという安心感はあるのですが、マークが付いているので車椅子が乗れることになっているはずですが、私は乗っている姿を一回も見ることがありません。その理由をはっきりして、バス停とバスの間には必ず隙間ができて、車椅子の方が一人で乗り込むことは無理だからです。ということは、誰かが手伝う必要があるので、市民の皆さんにそういう人を見たら手伝ってほしいと啓発したり、手伝うためのスキルを教えたりと、協力者に対する教育をしなければ現状は変わりません。小中学校も含めて教育を行い、せっかく走っているバスをみんなで

	<p>うまく使って、乗りやすいようにするということを進めるべきだと思います。</p> <p>最後に、36ページの防災です。長岡は被災地でしたので、他のエリアに比べて非常に防災意識が高いですし、いろいろなところで準備をされていると思います。実績に対しての意見ではないのですが、介護認定を受けた方には、要支援を含めてケアプランという計画がつけられます。ケアプランというのは、一人暮らしのAさんが要支援でこういうサービスを使っているというような、介護を受ける計画が書かれています。この中に、防災時計画とありますが、災害が起きたときに、誰がこの人を助けに行きどこに逃げるのかという程度のことは、載せるべきだと思います。他のエリアでは実施していませんし、長岡は被災地でもありますので、このようなことができればいいかなと思います。以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。事務局のほうから何かありますか。</p>
長寿はつらつ課長	<p>地域包括支援センターの成年後見制度の相談件数ですけれども、これについては平成24年度もセンターの職員を対象に研修会を実施しまして、成年後見について勉強をしております。相談件数は若干しか伸びておりませんが、認知症の数が急激に増えているというところを見ると、委員が言われているように、もっと申請件数が伸びてもいいのではないかとというのはごもっともです。ですから、私どもも積極的にセンターの職員、あるいは市職員に対して成年後見の研修を実施しまして、今後、この制度がもっと利用されるようにしていきたいと思っております。</p>
福祉総務課長	<p>32ページについて、複合型サービスの貴重な情報提供ありがとうございました。私どもとしましても、アンテナを立てて情報収集に努めてまいりたいと思います。</p> <p>35ページのバスの件につきましては、本日は担当課がおりませんが、確かバスの運転士が介助することになっていたような覚えがあります。そのあたりを含めて、今回いただいたお話を担当課に伝えて、参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>36ページの防災の関係でございます。この件につきましては、個別支援計画、いわゆる災害時要援護者支援の関係で一人一人がどうされるかということは今、長岡市としましては検討させていただ</p>

<p>福祉保健部長</p>	<p>ているところです。今回このような意見をいただいたということで、さらに検討を進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>今、福祉総務課長が申し上げた36ページの防災の対応ですが、要援護者支援ということで、個人情報の問題で制限がありますが、町内会や自主防災組織で要援護者の把握の準備を進めていただいております。ただ、委員がおっしゃるように、実際に災害が起きたとき、どのように避難するか、あらかじめ共有しておかないといけないと我々も思っております。例えば施設に通われている方が、発災の時点でどこにいて誰が対応することになっているかを、あらかじめ行政や福祉施設、地域の方々が把握できていれば、非常に安心だろうと思います。これは理想的な要援護者支援の体制だと思っておりますが、どこまでの範囲の方にプランを持っていただくかということについては、介護事業所の皆さんと相談や協議をさせていただきたいと思っております。我々も、どこから手をつけていったらいいかなど考え方を整理しており、協議の場をもちたいと思っておりますので、その方向で進められるように市も取り組んでいきたいと思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>非常に前向きな議論で、新しい方向で進むのではないかと思います。一つよろしくお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>進捗状況の報告については特に質問はないのですが、高齢者等の概況の3ページ、要介護認定者の現況についての意見です。まず、「高齢者人口の増加に伴い要介護認定者数は増加傾向にあります」とありますが、これは絶対数が増えているので、要介護認定者数が増えているというのは、ごく自然なことだと思います。次の言い回しが私の中ではよく分からないのですが、「また、介護保険制度の定着及び高齢化に伴い要介護の認定率も増加傾向にあります」とあります。認定率は比率ですので、当然ながら絶対数が上がっても、その比率のまま数が増えれば認定率は上がらないはずです。介護予防事業や一次予防事業が成功しているのであれば、むしろ認定率は下がるはずです。事実は事実ですからこれを変える必要はないのですが、ここの言い回しとしては、「高齢化に伴い」ではなく、たとえば85歳以上など、より高齢へのシフトが起きていて、</p>

介護保険課長	<p>そのために全体的な認定率が上がっている、というような言い回しの方が、正確な表現ではないでしょうか。</p> <p>おっしゃるとおりでございます。ありがとうございます。</p>
委員長	<p>はい、あといかがでしょうか。</p>
委員	<p>はい。少し外れているかもしれませんが、最近の新聞その他を見ておきますと、オレオレ詐欺の手口がだんだん進んできているようです。長岡市の福祉関係の部局だけでは手に余るような問題だと思いますが、県や市の消費生活センターなどと連絡をしているようなことはあるのでしょうか。</p>
長寿はつらつ課長	<p>オレオレ詐欺からいろいろな手口が出てきておりますけれども、何かあればすぐ警察から私どもに連絡がきまして、それをすぐ地域包括支援センターに伝えております。消費生活センターともやりとりをしながら、未然防止のために、どのようにしたら一番効果があるのかなどを考えたり、地域包括支援センターに情報を流しながら、高齢者宅を回る際に伝えてきたりしております。</p> <p>次から次へと手口が変わっていきますので、私どももそれに合わせて対応を変えているというのが現状で、なかなかこれという防止策はできませんけれども、早く情報を流せるよう消費生活センターと情報交換をしながら行っているところです。</p>
委員	<p>先ほど成年後見制度のお話がありましたが、専門家やプロが逆手にとって新聞紙上をにぎわすような状況が全国的に非常に多いようです。長岡市においても、65歳以上の比率が年々高まっているわけですので、私の意見としましては、先ほども警察と連絡というお話もございましたが、関係部署と広くタイアップなさいます、新聞だけでなく広報紙なども利用して広くみんなに呼びかけたり、また関心を持っていただくような記事の作り方が必要なのではないかなと考えたわけでございます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。コミュニティや老人クラブの会合の中で、研修会や講演会などお話を聞く機会がかなり実施されていましたが、また今言われたような形で、より一段と連携した体制</p>



<p>委員</p>	<p>を組んでいったらどうかということでした。ありがとうございました。</p> <p>健診の受診率が上がらず、ずっと同じような数字が続いているんですけども、胃がん健診について言いますと、医師会と長岡市と協力して来年から新しいタイプの健診が始まります。もう一つは、胃がんのほとんどが、ピロリ菌が原因によって起こるのですが、除菌するとがんの発生率が3分の1に落ちると言われています。この除菌に保険が適用されることになりましたので、胃がんに対する健診と治療が今年から来年にかけて大幅に変わってくると思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。ありがとうございました。まだまだご意見があるかもしれませんが、議題ももう一つございますので、次に移らせていただきます。</p> <p>では、続きまして、「議題2．長岡市高齢者等生活実態調査」について、事務局のほうから説明をお願いできればと思います。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>それでは、資料2，3，4を出していただければと思います。こちらにつきましては、前回の会議にて概略をお話ししておりますので、今回は詳細に決まった点について、ご説明をさせていただきます。</p> <p>(資料 2，3，4に沿って説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>これは、例年より一年早く調査して、それをもとに次の第6期計画をじっくりと立てていくというようなねらいでございますが、皆様のほうから、ご質問はございますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今ほどご説明があった中で、送付数の見込みが6,710人とありました。その右の欄に上から170、100、170、170とありますのは、これだけ回答があったということですか。これらの数字の意味は何でしょうか。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>はい、申し上げます。例えば在宅サービス利用者であれば調査票Aを送るのですが、全体として1,870人の方にお送りさせていただきたいと考えております。その1,870人の内訳ですが、長岡市内に</p>

	<p>日常生活圏域というものが11圏域ありまして、その各圏域から170人ずつ無作為に選びまして、その方々にご送付申し上げるということです。170人を11圏域でかけると、合計として1,870になるということでございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。 そのほか、皆様のほうで何かありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどの車椅子でも乗れるバスの話ですが、確かに後ろから乗れるようになっていて、車椅子の方が乗ってこられたときに運転士の方が乗せてあげるんだけど、乗降口が道路から結構高くて大変なんですね。だから、乗客の方々が手伝えるといいなと思いながら自分も見ていたんですけども、バスの会社の問題かもしれませんが、バスの中に気軽に手助けしましょう、手を貸しましょう、ということが書いてあるといいなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>すみません。教えていただきたいのですが、先ほど大学等の研究機関に業務を委託するということで、長岡大学に依頼されたとおっしゃいましたよね。長岡には大学がたくさんありますが、その中で長岡大学に依頼された根拠は何かあるのですか。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>委員のおっしゃるとおり、長岡には3大学ございます。長岡技術科学大学、長岡造形大学、そして長岡大学とありますけれども、福祉系の調査や研究を主にされている学科が長岡大学にございまして、実績もありますことから一番適した大学と判断しております。</p>
<p>委員</p>	<p>はい、わかりました。ありがとうございます。</p>
<p>委員</p>	<p>実態調査についてですけれども、調査票の調べる対象ということで、調査票Aであれば、サービスを利用された方に対しての設問ということで、問1から問17については本人に、問18以降については介護者となっておりますと思います。 平成20年度の調査などでは、設問の比率としてはどのようなものだったのでしょうか。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>平成20年度の調査は、ご本人への設問のみで実施いたしました。</p>

委員	<p>わかりました。ありがとうございました。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>それでは、その他も含めまして、皆さんよろしいでしょうか。</p> <p>では、本日は議題が2つございましたけれども、第5期計画については今年度、来年度と進めていくわけでございます。また、高齢者等生活実態調査については、先ほどのご意見を踏まえながら、実施に向けて進めていければと思っております。</p> <p>では、私のほうからは以上で終了させていただきます。皆様、大変ありがとうございました。</p> <p>では、事務局にお返しします。</p>
福祉総務課課長補佐	<p>ありがとうございました。閉会にあたりまして、福祉保健部長より挨拶申し上げます。</p>
福祉保健部長	<p>皆様ありがとうございました。事務局の説明が時間をとってしましまして、申し訳ありませんでした。</p> <p>高齢者福祉につきましては、団塊の世代が65歳以上を迎えられたということでマスコミでも大きく取り上げられ、国でも次の計画に向かっていろいろな議論が出ております。今までは、介護を受けられる方へのサービスを中心に据えた計画という方向で進めてきたところですが、65歳以上が30%、40%という時代が目前となってきますと、むしろ高齢でありながらも元気で活躍の方が80%以上いるということ、行政も視野に入れなければならないと思っております。高齢者の就労だけでなく広くボランティア活動などを含めまして、さまざまな形で高齢者の方が社会で活躍できる、社会に貢献できるという機会や情報を、市としてもいろいろな団体の皆さんと連携しながら広げていき、高齢者社会を支えるマンパワーとしていかに活躍いただけるか、という大きな視点をもつことが重要であると思っております。決して、介護者がどんどん増えていくので大変だ、という側面ばかりが日本の将来ではないと思っておりますので、今後またこの推進会議の中で、いろいろな立場からご意見をいただければと思っております。</p> <p>簡単ではございますが、閉会の挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p>

福祉総務課課長補佐	<p>ありがとうございました。</p> <p>この会議の議事録は、後日お送りいたします。長岡市ホームページにも掲載いたしますので、よろしく願いいたします。</p> <p>お車でお越しの方は駐車券の無料処理をさせていただきますので、閉会后、事務局までお声掛けください。</p> <p>本日はこれで閉会とさせていただきます。</p> <p>皆様、お忙しいところ大変ありがとうございました。</p>
8 会議資料 別添のとおり	